

事務事業調書 平成23年度	No 554	課名 公園緑地課	起案者 前田龍一
事業種別 施設管理		係名 花とみどりの係	決裁者 石川勝己
事務事業名 街路樹木管理事業	区分 継続	業務一覧No	
		他係名	
		他係業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり		予算科目(会計)	一般会計
	1 緑		予算科目(款・項・目)	40-20-15
	2 公園・緑地		総合計画以外の計画	
	9 上記施策以外の施策		関連する総合計画の施策	
性質区分	市の内部事務事業		法定受託事務	無
根拠法令	無			
実施方法	全部委託	委託先	民間企業	
実施期間	開始	経過	終了	期間
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	沿線や地域住民が	~になる	良好な生活環境になる
事務事業の内容	委託方式により、街路樹の適正かつ円滑な維持管理をしています。			
事務事業進捗状況	街路樹維持管理業務 剪定 1 or 2 回/年 草刈 3 回/年 流水帯清掃 2 回/年 緑地帯清掃 1 回/年 管理パトロール 1 3 回/年 防除			
改善・対策の履歴	除工(薬剤散布)において、予防散布から駆除散布に変更し、回数の軽減をしました。ならびに、環境への影響の軽減をしました。あわせて、沿線住民への負担軽減を図りました。町内会にとらわれず、ボランティア団体等にも声掛けし、愛護会設立にも取り組みました。			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	
総事業費 f=a+d+e	108,458	92,262	103,561	83,551	101,634	79,138	95,831	
財源計 a	105,446	89,250	100,172	80,162	98,622	76,126	92,066	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	105,446	89,250	100,172	80,162	98,622	76,126	92,066
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0	
職員人件費 d	3,012	3,012	3,389	3,389	3,012	3,012	3,765	
内訳 従事職員数	0.40	0.40	0.45	0.45	0.40	0.40	0.50	
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0	

4 求める成果を得るための活動

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
活動	活動①	活動名 (活動内容)	街路樹木管理委託	見込(単位)	51.00	51.00	51.00	51.00
				実績b(単位)	51.00	51.00	51.00	
		指標名(単位)	管理延長(km)	活動の総事業費f 実績	94,521	83,174	79,138	
				単位コストg=f÷b 実績	1,853.35	1,630.86	1,551.73	
	活動②	活動名 (活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名 (活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5(1) 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	事故件数(件)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	0.00	0.00	0.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
			見込(単位)				
			実績(単位)				
		達成状況					
目標成果指標値		目標達成年度					

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	委託方式により剪定や除草等を行い、道路交通の安全の確保及び緑地の保全に役立ちました。	

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	
	成果1,2	街路樹の適正な管理により緑地の保全ができ、市内の道路の雑草やゴミが減り、環境が良好になりました。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
	効率的な街路樹の管理を図るため、樹木管理の内容及び回数の方針の見直しや街路樹愛護会の設立に努めます。	

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	適切な緑化保全及び交通の安全確保を図るため継続します。